

熊本県立大学 総合管理学部（3年情報処理科生徒）

私は、熊本県立大学の総合管理学部に合格しました。

私はずっと進路について悩んでいました。何かこれといってやりたいこともなく、夢もなくて、自分が何をしたいのか分からないでいました。そんなときに担任である柳瀬先生から「熊本県立大学はどうか」とお話をいただきました。私はそのときまったく興味がなく、あまり乗り気ではなかったのですが、県立大について自分で調べたり、在学中の先輩方のお話を昼休みに聞いたりしていく中で、興味を持ち始めました。

熊本県立大学では、公共・福祉、情報、ビジネスの3つの分野の学問を学ぶことができます。また、ボランティア活動が活発で、地域への理解を深め、共生の精神、ボランティア精神に富むリーダー養成を目的とする「もやいすと」等の県立大独自の実践があり、ここでなら自分をもっと高めることができるだろうと思い、志望しました。

私は熊本県立大学のAO入試を受験しました。県立大のAO入試は、自分がどのような人間であるのかをアピールする自己推薦書の評価、学科試験、面接試験があります。自己推薦書と面接試験を通じて、受験者が大学のアドミッション・ポリシーに合致した人材であるのか、学習意欲はどのくらいか、今後の目標は何かを見ます。一次試験では学科試験が行われ、国・英・社の総合問題が出題されます。願書とともに提出した自己推薦書との総合評価で合否が出ます。進路決定をしたのが夏休み前後であることもあり時間がなく、私はこの自己推薦書の作成にとっても苦戦しました。志望動機・自己PR・大学入学後に取り組んでみたいこと、大学卒業後の夢の3つを書き上げなければなりません。冒頭で言ったとおり、私は夢ややりたいことが特になかったため、まず今までの学校生活で自分がやってきたことを全部思い出しました。私は高校2年間で、実用英語検定の準2級や全商の一級資格を5つ取得していたり、人権フェスティバルの運営や熊商デパートの視察等の校外行事、被災地ボランティアに参加したりしました。これらの経験を通じて感じたことや身につけたことを始めとして高校時代の自分の成長を書き出すことで、大学入学後に自分がやりたいこと、卒業後にどんな大人になりたいかを想像し、繋げ、文書を作成することができました。

二次試験では個人面接がありました。とても緊張しました。面接室前で待機している時間が緊張でとても長く感じられ、心臓がバクバクしてめまいがするほどでした。面接室に入ると3人の面接官の方がいて、最初に簡単な質問をしてくださいました。おかげで緊張がほぐれリラックスした状態で面接に望むことができました。面接の受け答えでは校内外での活動体験が鍵となり、しっかり自分をアピールすることができました。

最後に、1年生、2年生の特に大学進学を考えている人は、英語の勉強をしてください。県立大の入試にも英文読解があり、合格してからの課題にも英作文があります。英語力は受験だけでなく、その後の大学生活や社会に出てからも必要となってくるものなので、今のうちから英語の基礎をきちんと身につけておくの良いと思います。また、進路決定はできるだけ早くしてください。私は進路決定が遅く、夏休みに毎日切羽詰りながら作業をしていました。遅くても3年の4月までに決めて取り組んでいれば、もっとゆったり構えられたらと思う。「まだ時間はあるから深く考えなくても良い」と先延ばしにしていると進路決定をしなければいけないときにとても困り、気づいたら夏休みだった、なんてこともあります。また、私のようにまだ何をやりたいのか分からない人は、資格取得や勉学に励むのももちろんですが、さらに自分の選択肢を広げるためにも今のうちから校外行事やボランティアに積極的に参加しておくべきです。私は2年生のときにいろいろなことに挑戦したことが受験で役に立ちました。みなさんも頑張ってください。